

LOVE FAMILY

広島ガスエナジー 2017 春号 Vol.173

[ラブ・ファミリー] あなたの暮らしを広げる情報エッセンス



左から参加してくださった岩野さん、松本さん、矢野さん、山崎さん、坂本さん。



境港に水揚げされた新鮮な松葉ガニはやっぱり美味しい



鬼太郎、ねずみ男など4パターンの車体が走る妖怪列車

第1弾 美保館

霧囲気のある空間で至福のひとつときを
特別ディナーへご招待
美保関の老舗割烹旅館で蟹尽くしを満喫

◎カニ自慢の港町

新しい春を迎え、この一年はより多くのお客様に参加してもらえますよう、日帰りグルメツアーを企画してまいります。第1回に当選されたのは、岩野ヨシ子さん、坂本洋子さん、松本晶彦さん、矢野多見恵さん、山崎雅子さんと、参加者も5名様に増えました。

今回は、島根県美保関町の老舗旅館「美保館」で味わう冬の味覚の王者、松葉ガニ料理にご招待いたしました。当日2月18日の午後、JR米子駅に集合し、境線の0番乗り場から妖怪列車に乗車。「ゲゲゲの鬼太郎」のイラストが外装にも、車内にも描かれた列車に自然と気分が高揚してきます。

「電車に乗る良い体験になりました」と矢野さん。途中、車窓から雨上りの空にかかる大きな虹も眺められ、まさに皆様を歓迎しているかのようでした。

境港駅からは車で移動です。運転手さんが「水木しげるロード」を通って、美保関町に向かってくださったので車窓観光も楽しめました。「美保館」に到着後は、風情ある美保館本館を見学したり、展望浴場に入浴したり…。思い思いにゆっくりしてから、お料理を堪能していただきました。

ENERGY NEWS エナジーニュース

年中 Rinnai おうちランドリー ガス衣類乾燥機 快適レンタルキャンペーン



自宅がコインランドリーに早変わり!!

コインランドリーも
ガス乾燥機を使っています!

約5kgの洗濯物の*場合	
コインランドリー	約400円
乾太くん	たったの約55円

*条件:実用衣類5kg(綿50%、化繊50%) / 脱水度70% RDT-52S・標準コースで算出、ガス料金/LPG:16円/kWh(石油情報センター2006年7月公表データ)、電気料金22円/kWh(基本料金は加算せず)60Hzの場合 リンナイ(株)調べ

乾太くんだと、とってもオトク!

1ヶ月の料金比較(15回使用時)

合計 6,000円	約400円×15回 約6,000円	合計 2,350円	乾太くんだと 約3,650円 オトク!!
《コインランドリー》	Coin Laundry	レンタル代 1,525円	ふんわり ふかふか
		約55円×15回 約825円	
		《乾太くん》	

■RDT-52S(ガスコード接続タイプ)
[本体・標準部品込・工事費別途]
⊗167,300円(税別)を

8年
レンタル

1ヶ月 1,525円(税別) × 96回

低コストだから
家計にやさしい!



ガス衣類乾燥機を
無料で1週間お貸しします!
(ガス代も無料)

衣類乾燥機が気になるお客様に
1週間おためし
キャンペーン実施中!

詳しくは
各営業所まで
お問い合わせ
下さい。

Present 読者プレゼント

広島ガスエナジーから
読者の皆さまに抽選でプレゼント!!
たくさんのご応募お待ちしております!!
「生きる」

5名様プレゼント

- お申込み方法/官製ハガキにご住所、氏名、年齢、TELをご記入の上、〒692-0023 安来市黒井田町731 広島ガスエナジー(株)「ラブ・ファミリー」プレゼント係まで
- 締切/平成29年5月17日(水)必着抽選後、発送させていただきます。抽選結果は次号(Vol.174夏号)にて掲載させていただきます。

Vol.172・新春号プレゼント当選者発表

多数のご応募ありがとうございました。今回、見事当選された方は、

★山根 勝則さん (米子市)	★池田 静夫さん (安来市)
★小松原 早苗さん (松江)	★曾田 多美子さん (出雲市)
★山根 圭子さん (出雲市)	

でした。おめでとうございます。

参加者募集

霧囲気のある空間で至福のひとつときを
「特別ディナーへご招待」

第2弾
山常楼

5名様ご招待

- 日時/平成29年5月27日(土)※日帰りになります。
 - 集合場所から現地までの交通費及び交通手段は当方で負担致します。詳しくは当選者に直接ご案内致します。
 - 募集人員/5名様(当選者ご本人に限りです)
 - お申込み方法/官製ハガキにご住所、氏名、年齢、TELをご記入の上、〒692-0023 安来市黒井田町731 広島ガスエナジー(株)「ラブ・ファミリー」係まで
 - 締切/平成29年5月17日(水)必着
- *申込み多数の場合は、抽選の上決定し、ご本人に通知します。
お問い合わせは広島ガスエナジー安来営業所(0854)22-3632まで
写真はイメージです。

太陽光発電のことなら広島ガスエナジーへ!



本社米子営業所/米子市旗ヶ崎7丁目10-26 ☎(0859)29-9711 境港営業所/境港市 中野町 ☎(0859)42-2018
安来営業所/安来市黒井田町 ☎(0854)22-3632 松江営業所/松江 古志原 ☎(0852)21-5506
平田営業所/出雲市斐川町坂田 ☎(0853)62-2866

絶品のカニを味わう

美保湾が館前に広がる「美保館」では、新鮮な魚介を味わうことができます。冬といえば、やっぱり山陰の松葉ガニ。今回のツアーでは、丸ごと二匹の蒸し松葉ガニを主役に、当社だけの特別な献立を考えてもらいました。

焼き松葉ガニは自分で焼き、火が入り過ぎないように見守るのも一興です。アツアツを頬ばると、香ばしくて濃厚な旨みが口の中に広がりました。

「かにの刺身は、紅ズワイガニをご用意いたしました。松葉より甘みがあるんですよ」と若女将。本当にとりとした格別の甘みがあつて、とろける食感が後を引きます。

「カニを食べると無口になる」といわれませんが、まさにその通り。皆様、しばらくは無言になるほどでした。カニに舌鼓を打って二段落つくと、いろいろな会話が盛り上がり、帰りの時間を忘れそうになってしまいました。

「新鮮なカニを沢山食べて堪能しました。楽しいディナーをありがとうございました」と岩野さん。

食べきれなかったボイルの松葉ガニは、お孫さんやご家族へのお土産として、お持ち帰りいただきました。ご家庭にも美味しい笑顔が広がりましたでしょうか。

日本らしさを味わう

今回、豪華なカニ料理を味わった「美保館」は、100年以上の歴史を誇る老舗旅館です。大正浪漫あふれる佇まいの本館は、国登録文化財に登録され観光名所として見学も可能です。

最近、美保関町はロングバケーションを楽しむヨーロッパの旅人から、密かに注目され始めているそうです。何度も日本を訪れている外国人は、日本の原風景が残る田舎を好み、ゆっくり時間の流れる港町は穴場的なりゾート地といえるようです。

日本らしいおもてなしで迎えてくださった旅館と、日本らしい昔ながらの港町の心地よさは、参加者の皆様の心にも染み入ったようです。

「美保館さんの丁寧な対応に感動しました」と山崎さん。「お風呂に入りながら見た美保湾の景色が素晴らしく、また訪ねてみたくなりました」と坂本さん。そして、松本さんからも「とても楽しい時間を過ごさせていただきました」という感想を頂戴しました。

皆様に喜んでいただけたことが何よりでした。次回も楽しい出会いと、美味しい感動をお届けできるよう頑張ります。またのご応募をお待ちしております。

ご案内



国登録文化財
美保館

〒690-1501
島根県松江市美保関町美保570
TEL 0852-73-0111
URL mihokan.co.jp



高度な技で複雑に組んだ数寄屋造りが見事な館内



美保関町の「青石畳通り」に佇む美保館本館



昔ながらの日本の港町の風情を今に残す美しい美保湾



美保関町のまちづくり

美保関町では長期滞在型の旅行を楽しんでもらうため、昔の地域行事を再生するまちづくりに取り組まれています。枝に白い餅を飾って正月を祝う風習「もち花飾り」や、美保湾を泳ぐアゴ(トビウオ)を網ですくいとる漁「アゴすくい」などが体験イベントとして復活され、住民からも懐かしいと喜ばれています。

いろいろな松葉ガニ

いつきぼし 五輝星

重さ1.2kg以上など、5つの厳しい基準を満たす最上級ブランドの松葉ガニ。

若松葉

「ミスガニ」とも呼ばれる脱皮したての松葉ガニ。やさしい甘みと割安感で人気が高まっています。

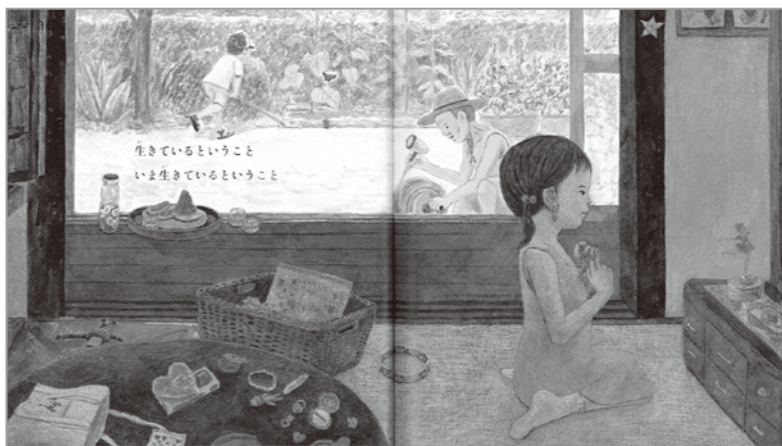
姫松葉

「親ガニ」「セコガニ」とも呼ばれるメス。小ぶりで濃厚な内子、プチプチの外子が特徴です。

こどものための

絵本のせかい

この「絵本のせかい」では、世界中の心あたたまるお話をご紹介します。絵本は、お子さんの心を育む純粋な「栄養」であり、同時に親子のコミュニケーションツールでもあります。「絵本」を通して、親子で新しい発見をしてみてください。



生きているということ
いま生きているということ



【この本のご紹介者】

すえむね たつひこ
末宗 辰彦さん

児童図書を中心に扱う出版社である「古今社」および「山陰こどものとも社」の代表取締役であり、他にも「子どもの文化講座」主宰、日本国際児童図書評議会(JBBY)正会員など、児童文化分野において幅広い活動をされている、エネルギーで情熱的でもあたたかな社長さんです。



世界は、この国は、どこへ向かって進んでいるのでしょうか？映像メディアの急激な発達によって、阿る、諂う、迎合する、媚びる、世相が広がっているように思われます。実体験よりもバーチャルリアリティー(仮想現実感)の影響によって、人々が右往左往している現状があります。そのような風潮の中で、自分自身や他人の命の尊さが軽んじられているのではないのでしょうか。今、生きる意味が問われているのです。

今回は現代詩人の第一人者、谷川俊太郎 詩・岡本よしろう 絵「生きる」を紹介いたします。この絵本の帯に「そこで何が起ころいても、誰が何をしても、その短い時間の中に(永遠)をはらんでいる」と、谷川俊太郎氏が文を寄せられています。

絵本の中扉を開くと、詩は「生きているということ いま生きているということ」絵は、足元にアリがアブラゼミを運んでいる場面、次の頁を開くと、詩は「それはのどがかわくということ 木漏(こもれ)日(ひ)がまぶしいということ」絵は、樹木の豊かな公園で子どもやおとなが楽しんでいる場面、このような日常にこそ生きる全てがあることをこの絵本は教えてくれます。ちょっと立ちどまって考えてみませんか。

※本号でご紹介している図書は「古今社」でも直接販売をされています。
詳しいお問い合わせは(0859) 27-1390(有)古今社まで